

臨海副都心線工事誌

(新木場～東京テレポート間)

平成 8 年10月

日本鉄道建設公団東京支社
東京臨海高速株式会社

臨海副都心線工事誌

(新木場～東京テレポート間)

平成8年10月

日本鉄道建設公団東京支社
東京臨海高速株式会社

序

東京都の7番目の副都心として開発が進められている臨海副都心と既成の市街地とを結ぶ重要な交通アクセスとなる臨海副都心線（新木場・東京テレポート間）が平成8年3月30日に開業し、79日目にして100万人の乗客輸送を達成するとともに、国際展示場を中心としたイベント等の開催日には、8万5千人にも及ぶ人々にご利用頂いていることについて、ご関係の多くの皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。

この臨海副都心線は、公団が建設を進め、その途上で諸般の事情から凍結された京葉貨物線を有効に活用して整備がなされたものであり、このたび開業した区間で再生された旧鉄道施設の延長は、約6割に達しております。

工事の施行については、公団が事業主体の東京臨海高速鉄道株式会社の委託を受け、平成4年3月末に路盤工事に着手しております。

施工地域の地質は、極めて軟弱な粘性土層を主体とする埋立地で、近接並走する主要国道等への施工の影響の抑制対策、開削施工の直下を共同溝の大断面DOTシールドが通過する工事との競合施工、既設のシールドトンネルを開削によって大規模に掘り出し、解体撤去して駅本体を構築する工事など、難工事の連続でありました。

また、工事の開始から開業まで4年間という厳しい工程に加え、臨海副都心開発の基盤整備事業の工事と競合し、工程の調整とその確保に苦慮する日々でありましたが、従事した職員が力を結集してこれを克服し、所定の工期に、大きな事故もなく完成を迎えたものであります。

臨海副都心線の各駅は、「人にやさしい駅づくり」をモットーに、誰もが利用しやすい駅舎を目指しておりますが、中でも国際展示場駅はイベント等を開催する国際展示場の近くに位置していることから、地上コンコース部は天井の高い幕構造とし、昼は自然の柔らかな光を採り入れ、夜には内部の照明光により駅舎全体が輝きを放つ特徴的な外観となっております。

この斬新な駅デザインに対して、鉄道建築協会主催（運輸省後援）の作品部門コンクールにおいて、運輸省鉄道局長から表彰されております。

この工事誌は、約1年間にわたり、関係職員が多忙な日常業務の合間を縫って資料を収集し、編纂したものであり、緒先輩の御目でご覧になられると不備な点が多々あるかと思いますが、日夜を分かたず刊行に努めた関係者に免じてご容赦頂ければ幸甚に思います。

最後になりましたが、この臨海副都心線の工事にあたり、終始ご指導、ご鞭撻を頂いた関係機関、並びに工事に従事された方々に、あらためて感謝の意を表します。

平成8年10月

支社長 伊 藤 則 昭

ご挨拶

臨海副都心線は、平成2年11月に東京都第3次長期計画の中で、「埼京線の大崎までの乗り入れの促進および臨海副都心の交通アクセスを強化する」路線として位置づけられ建設が具体的に決定いたしました。

この路線は、臨海副都心の開発を促進するとともに、埼玉、千葉および神奈川方面と連絡する広域的な交通ネットワークを形成し、混雑緩和や利便性の向上、沿線地域の活性化などに寄与するものとして、早期の全線開業が各方面より期待されております。

このうち、第1期事業区間（新木場～東京テレポート間 4.9km）は、平成4年3月25日工事に着手し、約4年の歳月を経て、平成8年3月30日に開業いたしました。

工事区間の約6割は、既に建設が完了していた旧京葉貨物線の構造物を有効活用して整備しましたが、新たに建設した部分は、軟弱地盤での他構造物との近接施工となり、また既設シールドトンネルを撤去のうえ駅本体を構築するなど、難工事の連続でありました。これを克服し、鉄道建設工事では稀な短期間で開業することができましたことは、日本鉄道建設公団を始め関係機関の皆さま、工事に携わった各社のご苦勞の賜物と感謝する次第であります。

出来上がった各駅は、それぞれ特徴のあるデザインであり、「安全で明るく、人にやさしい鉄道を目指す」という当社のモットーが遺憾なく表現されており、臨海副都心の新たな景観を形づくり、若者の人気を集めています。特に、国際展示場駅については、駅舎を膜構造とする斬新なデザインで、運輸省鉄道局長賞を受賞しております。

現在、第2期事業区間（東京テレポート～大崎間 7.4km）の早期開業を目指し、鋭意取り組んでいるところですが、この度、第1期事業区間の計画、施工等の記録を工事誌としてまとめたことは非常に意義のあることであり、第2期事業区間の建設にも大いに役立つものと確信しております。

最後に、第1期事業区間の建設にご協力いただいた日本鉄道建設公団をはじめ、東日本旅客鉄道株式会社、帝都高速度交通営団並びに関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、第2期事業区間の建設に向けて、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

平成8年10月

東京臨海高速鉄道株式会社

代表取締役社長 長 裕 二

式典



開業式典 (平成8年3月29日 国際展示場駅にて)



開業祝賀会 (平成8年3月29日 国際展示場駅にて)

式典



安全祈願式（平成8年3月29日 国際展示場駅にて）



一番列車出発式（平成8年3月30日 新木場駅にて）

式典



東臨ずい道完成式（平成7年3月8日 東臨ずい道入口にて）



東臨トンネル銘板（東京都知事 鈴木俊一氏 揮毫）

完 成 写 真



- 0k800m付近より千葉方向を望む



新木場駅起点方高架橋
(左右上はJ R京葉線)



新木場駅上り線 (終点側より望む)

完 成 写 真



新木場駅下り線（終点側より望む）



0km330m/付近シーサスポイント（始点側より望む）



東雲駅（終点側より望む）

完成写真



0km700m付近高架橋（起方側より望む）



東 雲 駅（上り線ホームより下り線ホームを望む）



東 雲 駅（手前は東雲Bv、終点側より望む）

完成写真



保守基地及び東臨隧道



東臨隧道入口



3k400m付近下り線
(国際展示場駅ホームより起点側を望む)



4k200m付近トンネル内シーサスポイント
(終点側より望む)

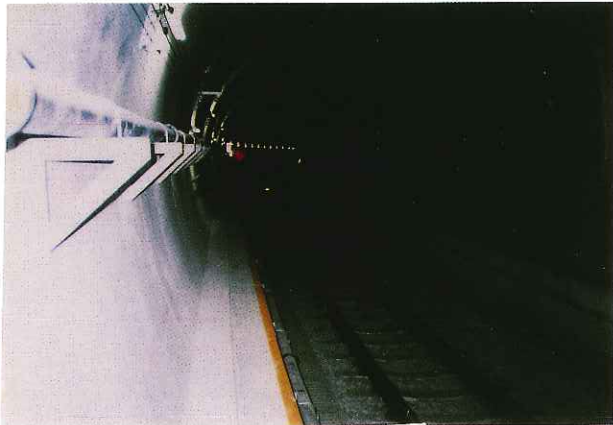
完 成 写 真



国際展示場 駅下り線（起点側を望む）



東京テレポート駅下り線（起点側を望む）



留 置 線



洗 浄 線

完成写真



曙運河 B



営団地下鉄 B i



第 2 辰巳 B v



辰巳運河 B

完成写真



イーストプロムナード橋



スカイウェイ橋



完成写真

東雲駅
外観（南面）

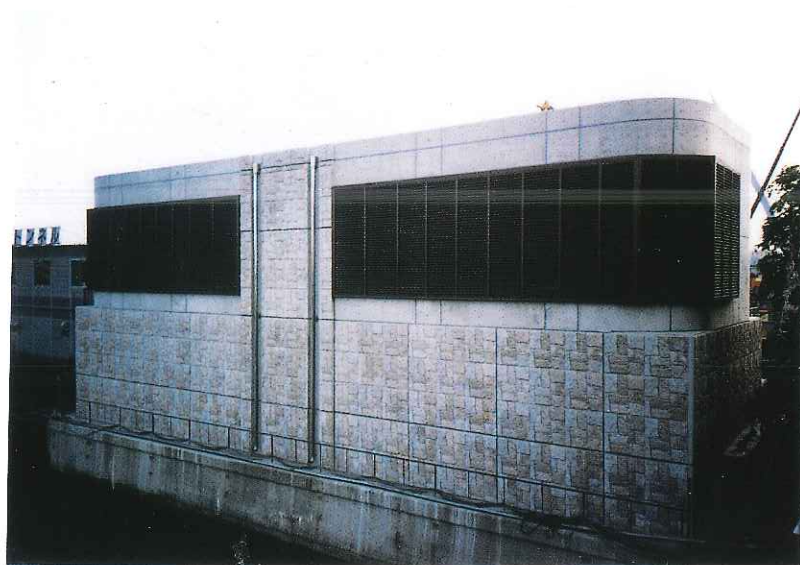


国際展示場駅
外観夜景

東京テレポート駅
外観夜景



施 工 写 真



有明換気塔



1 3 号地換気塔



有明変電所

完成写真

危険品庫
(後方はモーターカー庫)



運転指令室
(東京テレポート駅B1)

施工写真



第2東雲BⅡ橋脚構築



T2工区く体構築



施 工 写 真



国際展示場駅 掘削



東京テレポート駅 掘削

施 工 写 真



営団地下鉄B i トラッククレーン架設



辰巳運河B 台船架設



スカイウェイ橋ケーブル展開

施 工 写 真



東雲駅 上家鉄骨組立

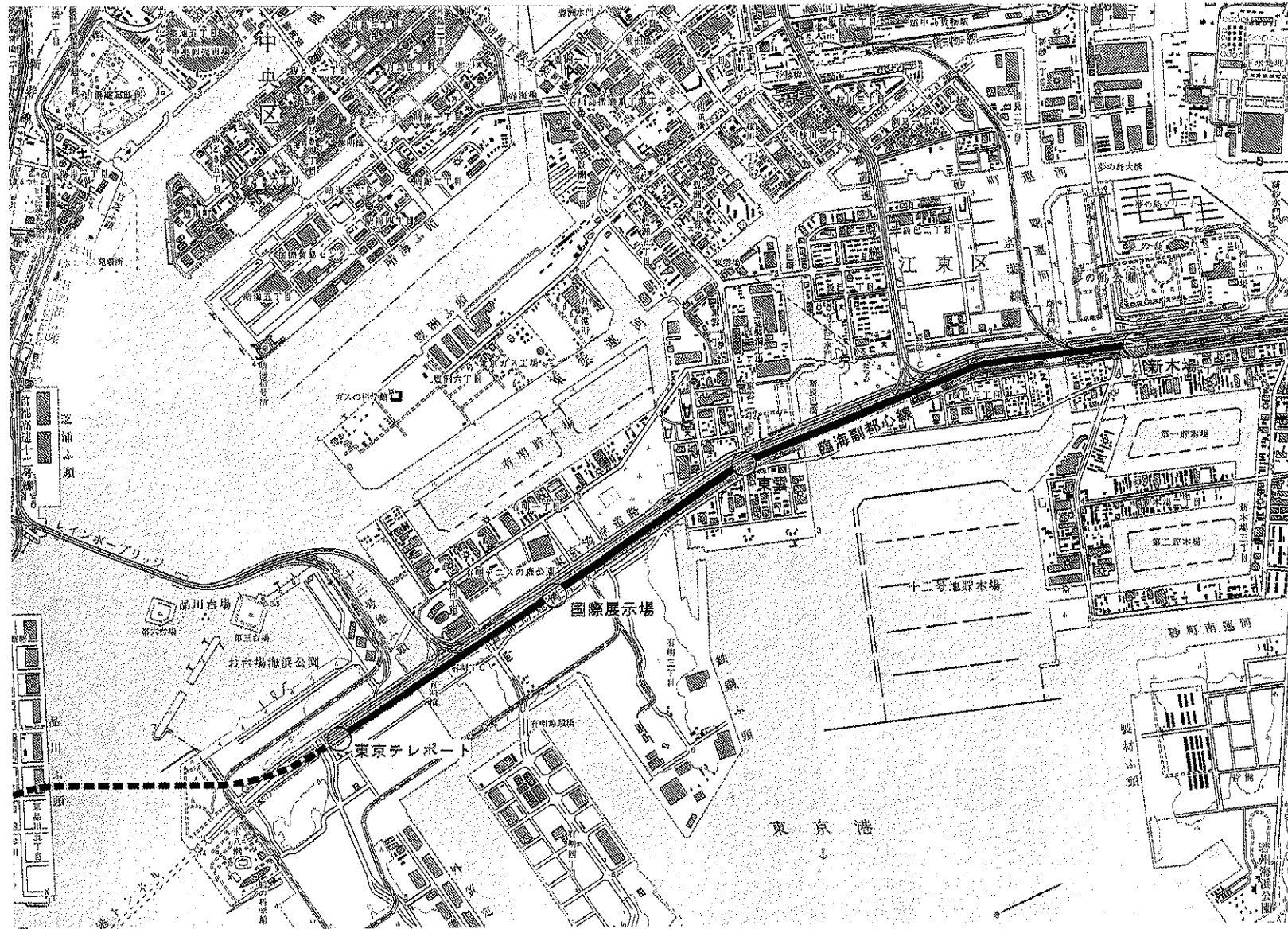


国際展示場駅 本屋鉄骨組立



東京テレポート駅 トップライト

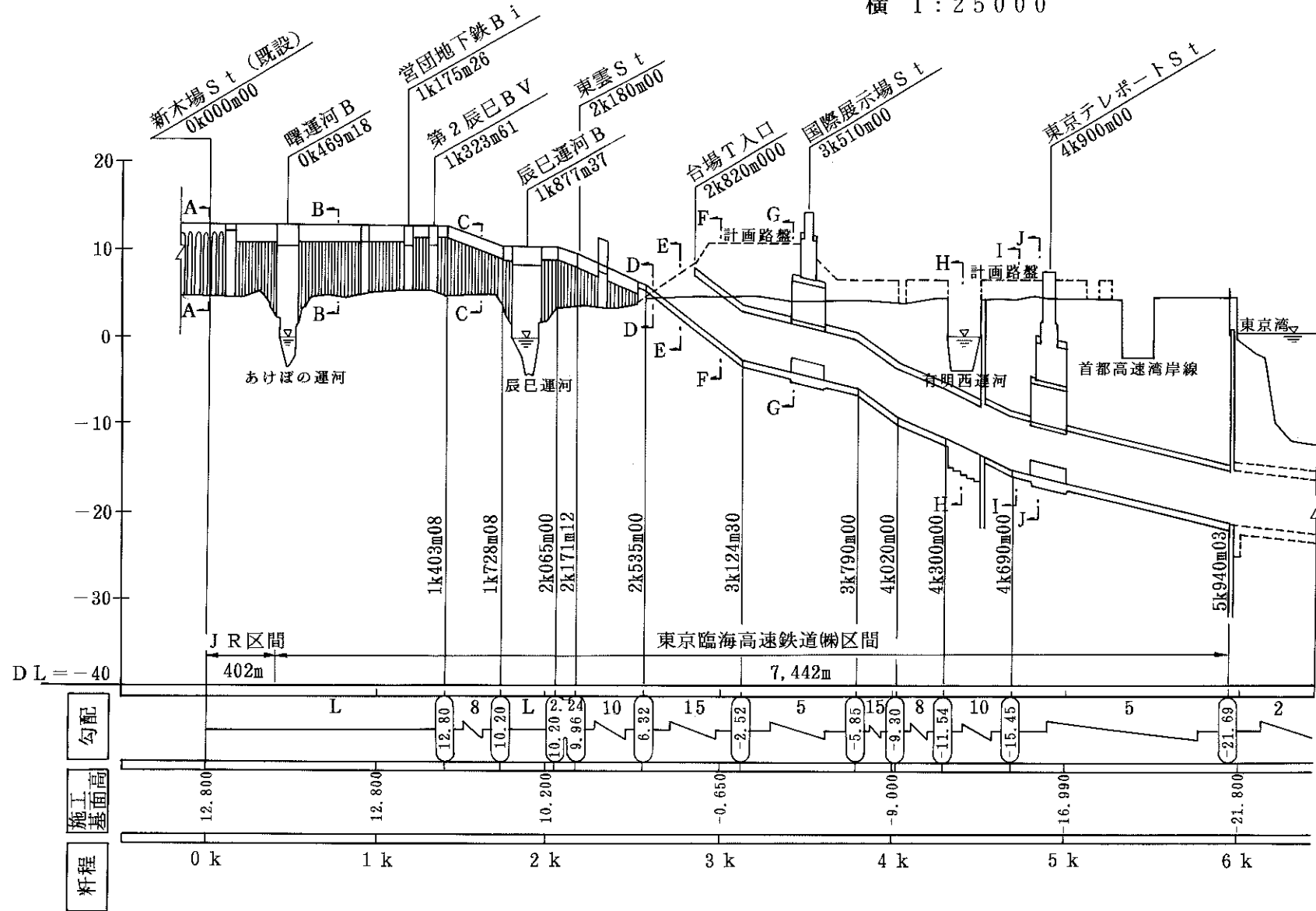
臨海副都心線路線図



縦断面図

縮尺 縦 1:5 0 0

横 1:2 5 0 0



臨海副都心線 縦断面図